JRTU 創造・参加・実践

OSAKA!

(毎月1日発行)
9/1 SEP.2020 NO.384

西日本旅客鉄道労働組合 大阪地方本部 〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町10-67
TEL(NTT)06-6773-3192 (JR)074-3191~3
FAX(NTT)06-6773-3194 (JR)074-3194
●発行責任者/西村 誠●編集責任者/村瀬徹朗

第29回定期地方本部大会開催!!

この難局を組合員全員で乗り越えよう

大阪地方本部は8月7日、TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテルに於いて、第29回定期地方本部大会を開催した。新型コロナウイルスの感染拡大が騒がれる中、密を避けるため代議員のみとし、感染防止対策としてアルコール消毒や換気を行いながらの異例の開催となった。議長団に天王寺電車区の田畑代議員と亀山鉄道部の東出代議員を選出し、例年より短い時間の中での開催となったものの、17名からの発言を受けるなど活発な大会となった。

大会冒頭、西村執行委員長が挨拶を述べた。(二面掲載)

来賓として、中央本部からは白壁副執行委員長、池上賃金対策部長、石田原情宣福祉対策部長、辻組織業務部次長、また新幹線協議会からは米村議長が出席。代表して白壁副執行委員長から挨拶があった。(別掲)

全体質疑での発言項目

橘代議員
(森ノ宮支所)
●要員について。
●マスクの配布について。

三木代議員
(尼崎列車区)
●分会大会の会場について。
●救援共済をコロナにも対応されたい。

武庫代議員
(京橋車掌区)
●私鉄の回数券廃止に伴う取扱いについて。
●ワンマンの拡大について。

林代議員
(天王寺車掌区)
●分会の組織強化について。
●乗り継ぎ割引の記載方について。

米永代議員
(大阪信号通信区)
●現示停止に伴う試験引きの保安体制について。
●工務の職務者手当について。
●フレックス制度導入職場の拡大について。

増田代議員
(大阪運輸)
●契約社員の社員化試験結果の発表時期について。
●出勤時の検温等の対策について。

吉井代議員
(大阪車掌区)
●感染防止対策での特急通勤について。

田村代議員
(京橋運輸)
●本部大会の開催時期について。

赤松代議員
(日根野支所)
●新在家のエリア手当について。
●車両所における業務の見直しについて。

山田代議員
(奈良運輸)
●改札に設置している感染防止対策用品について。
●IC乗車券のチェックについて。
●おおさか東線の利便性向上について。

畠山代議員
(王寺鉄道部)
●ワンマン作業の変更について。
●鉄道部の業務体制の在り方について。

清藤代議員
(大阪新幹線車掌所)
●退職者に送付する資料について。
●定期健康診断の予約の在り方について。

岩本代議員
(工務部会)
●コロナ禍で業務する仲間への一時金について。
●休養室の改善について。
●現業区の在宅勤務について。
●管理設備増加区所の要員の見直しについて。
●自然災害、老朽取替等による対応に伴う要員不足について。
●電気職場における改善施策について。
●異常時における業務の在り方について。

和田代議員
(奈良支部)
●支部独自の安全の取り組みについて。
●春闘について。
●レク活動について。
●喫煙所について。

寺井代議員
(大阪支部)
●安全の取り組みについて。
●雇用の確保について。
●賃金昇進制度について。
●コロナ禍におけるレクの開催について。
●大阪都構想の住民選挙について。

高橋代議員
(天王寺支部)
●新採加入の取り組みについて。
●今後の選挙活動について。

村山代議員
(北大阪支部)
●新型コロナ対策における組合の対応について。
●分会大会における助成金について。

橘代議員

林代議員

米永代議員

畠山代議員

岩本代議員

和田代議員

三木代議員

吉井代議員

武庫代議員

山田代議員

増田代議員

清藤代議員

田村代議員

村山代議員

赤松代議員

高橋代議員

寺井代議員

白壁中央副委員長来賓挨拶【要旨】

グループ会社との相互利用を

中央本部は7月20日に京都、大阪、和歌山、岡山、広島、福岡の6つの会場をウェブでつなぎリモートによる大会を開催してきた。

安全について、福知山線列車脱線事故から15年が経過した。昨年度から祈りの杜で開催している慰霊式が今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催することができなかった。また、JR西労組が主催する安全の集いも開催できなかったが、事故を忘れない、風化させないという思いは不変である。昨年は死亡労災こそなかったものの、今年度はコロナ禍でマスクをつけることが当たり前の中での業務運営となることから、衛生管理という面についても注視する必要がある。

労働協約については、新型コロナウイルス感染防止対策の時限措置として行っている対策について、働き方改革の改善としても正式な制度にするよう申し入れをしてきた。

会社はJR発足以降初めての赤字決算となったこともあり、資本を必要とする制度改正はできないとしている。JR西日本で働く組合員とその家族の健康のためにも、安心して働ける会社となるよう、制度確立に向けて今後交渉に取り組んでいく。

春闘については、運輸収入が昨年度の3～4割と落ち込んでいるものの、経費は93%消費している。組合員から、冬季賞与の給付について不安視する声を耳にすることがある。JR西労組は年間臨給方式で妥結しているため、今後の収入状況によっては何か変化がある可能性もあるが、現時点で会社からは何も出てきていない。

組織について、限りなく95%に近付いている組織率となっている。新型コロナウイルス感染拡大という状況下で、新入社員の組合加入を669人全員加入という成果を上げてくれた。世代交代が進む中、全員加入できたことは継承が進んでいるということだと考える。グループにおいては、ホテルや物販飲食が非常に苦しい状況となっている。JR西日本、またそのグループ会社が相互利用することで、この難局を乗り越えていきたい。

JR西日本グループを利用しよう! 社員や家族なら割引の場合もあるよ!

新型コロナウイルス感染症により、JR西日本・JRバスだけでなく、JR西日本連合各単組のグループ会社も大変厳しい経営状況になっています。私たちの周りにはたくさんのグループ会社の店舗やホテルがあります。厳しい時こそ、グループ会社を利用してお互いに助け合おう!

JR西日本グループで一体となってこの難局を乗り越えよう!

第25回賃金実態調査を行います

2021春闘交渉の基盤データとなる「賃金実態調査」を行います。100%の集約を目指しておりますので組合員の皆様のご理解・ご協力をお願いします。なお、9月分給与明細に基づき回答をお願いします。